



協会情報誌

# ふれあい

No.62  
2009 冬

財団法人 千葉市国際交流協会

Chiba City International Association

## ちば市国際ふれあいフェスティバル2010 ～キラッと、ちばの国際交流in きぼーる～

日時 平成22年2月21日(日)  
10:00～15:30

会場 Qiballアトリウム他 **入場無料**

約40の国際交流・協力団体による活動紹介、バザー、体験コーナー、世界の民族音楽の演奏が披露されるステージなど様々な国の文化を体験できます。ぜひ、ご来場ください。

主催：ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会  
後援(予定)：千葉市、千葉市教育委員会、財団法人自治体国際化協会(CLAIR)、独立行政法人国際協力機構(JICA)



### 目次

- P 1 ちば市国際ふれあいフェスティバル2010  
～キラッと、ちばの国際交流in きぼーる～
- P 2・3 協会事業報告、新国際交流員紹介
- P 4 **ちばに暮らす**／富田ナディアさん  
生活相談案内、法律相談案内
- P 5 **グループ紹介**／千葉大学生涯学習友の会  
けやき倶楽部国際理解グループ
- P 6 **協会トピック**「姉妹友好都市コーナー」  
賛助会員募集、広告・広告募集、編集後記

# 青少年交流事業

## 派遣

**ノースバンクーバー** 8月3日(月)～8月17日(月) 高校生4名・引率者1名  
ノースバンクーバー市役所表敬訪問、ウィスラーへの小旅行などをして交流しました。

**ヒューストン** 8月14日(金)～8月28日(金) 中学生4名・引率者1名  
NASAの見学やヒューストン市役所表敬訪問、中学校で授業の体験などをしました。

派遣者の報告書は協会ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。



### (派遣者の感想)

- 本当に自分が変わりました。すべてのものに対する考えや姿勢が大きく変わりました。
- (ホストファミリーは) 自分の未熟な英語を真剣に聞いてくれてうれしかったです。

## 受入

**ノースバンクーバー** 8月5日(水)～8月19日(水) 高校生4名・引率者1名

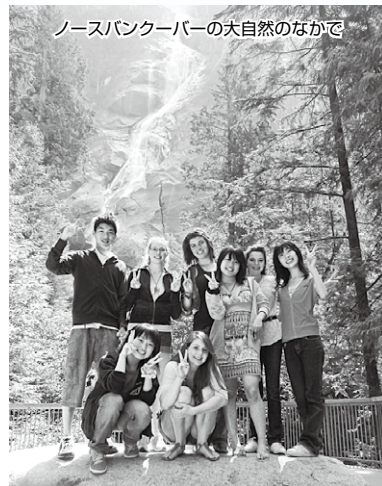
**モントルー** 8月11日(火)～8月19日(水) 青少年3名・引率者1名

一般家庭にホームステイをしながら、交流をしました。

市役所表敬訪問や、親子三代夏祭りでのおみこしや千葉踊りなどを体験しました。

### (来葉者の感想)

- (千葉市は)素晴らしい街です!伝統的でもあり、モダンでもあり、とても面白かったです。またいつか来たいです。
- スイスとはとても違うので日本のすべてが面白かったです。
- いろんな素晴らしいところへ行けました。この交流のおかげで成長できたと思います。



親子三代夏祭りでおみこしを体験

## PAPチーL

8月16日(日) 16:00～20:00

親子三代夏祭り千葉踊りに参加しました。総勢56名となり、楽しく踊りました。



## 日本語学習支援ボランティア情報交換会

今回は、協会日本語を学習している外国人の話を聞き、また各グループで話しあいをしました。

### (外国人の発表から)

- 日本人の友達ほしい。
- 会話をすることによって教科書には出ていない言葉遣いを学ぶことができる。
- 誤った発音は指摘してくれたほうがうれしい。

### (参加者の感想から)

- 学習者の望んでいることと、ボランティアの行動が必ずしも一致していないことに気づかされた。
- 学習者の不得手な点(助詞の使い方、文法)が聞けたので、今後の学習支援に役立てたい。



## はじめての中国語(全20回)

5月8日～9月25日 毎週金曜日

- けっこうドキドキの授業でしたが楽しかったです。毎回、会話があるのは緊張しますが、役に立ちました。
- 会話中心の授業で良かったです。

## 日本語学習支援ボランティア養成講座(全16回)

5月12日～9月8日 毎週火曜日

- 受講者が資料をつくったり、グループで発表したり、授業に工夫があり良かったです。
- 授業を受けて回を重ねるごとに、日本語への意識、勉強意欲が強くなりました。

## 異文化交流サロン

10月3日(土) 15:00~17:00

「インドネシア・越中おわら異文化舞踊交流の集い」を開催しました。それぞれの舞踊を鑑賞したのち、舞踊体験やインドネシアの歌を合唱しました。皆さまからいただいた西スマトラ地震義援金26,644円はインドネシア大使館を通じて寄付いたしました。

### 参加者感想

- 実際に踊る体験ができてしあわせでした。
- いろんな踊りが見られてとても楽しかった。歌は皆一緒に歌えて楽しかった!
- インドネシアと日本の舞踊を通じてそれぞれの文化の良さを理解できた。



## 第13回スピーチ大会

10月10日(土) 13:00~15:30

6カ国8名の日本語学習者がテーマ「カルチャーショック」について、スピーチをしました。

スピーチ後の交流会では、発表者と歓談したり、折り紙・風呂敷包み・中国組みひもの体験をして楽しく交流しました。

結果は以下の通りです。

- 1位 雷 于典 「びっくりしたこと」
- 2位 程 謙潜 「日本と私」
- 3位 張 宗翰 「地震、台風、季節」

### 聴衆者の感想

- 皆さんのがんばっている姿に感動しました。日本語を学び始めて間もないのに、ここまでできるのはすごいと思います。
- それぞれに個性があって楽しく聞くことができました。
- 外から見て日本のユニークなところなど聞いてよかったです。



## 千葉市国際文化フェスティバル2009「ノースバンクーバー文化芸術団」

—カナダ・ノースバンクーバー&ちば 音楽交流祭— 10月18日(日)

2010年に千葉市とノースバンクーバー市が姉妹都市提携40周年を迎えることを記念し、「ノースバンクーバー文化芸術団」を招いて千葉市民会館大ホールにて開催されました。

公演では、「ノースバンクーバー文化芸術団」のアンサンブル演奏、コーラスの他、千葉市の「幕張フィルハーモニー管弦楽団」と合唱団「からたち」と一緒にコラボレーション演奏を行いました。公演の最後は観客も出演者と一緒に「いい日旅立ち」を合唱しました。

また、国際理解講座として千葉市立稲毛中学・高校にて生徒たちと一緒に演奏や歌の他、文化芸術団メンバーもお茶や

書道を先生・生徒の手ほどきのもと体験しました。

文化芸術団メンバーの皆さんは、「今回の千葉市滞在は大変素晴らしく、日本の音楽家や生徒たちと交流したり一緒に演奏したことなど非常に良い経験ができた」と帰国する際、口々に仰っておりました。



## 新国際交流員紹介 中西・スタニス慧理果

こんにちは!私の名前は中西・スタニス慧理果です。これから一年、JETプログラムを通して、国際交流員として千葉市国際交流協会に働かせて頂く事になりました。

私は日米ハーフで、生まれも育ちもアメリカ合衆国のイリノイ州、シカゴ市です。毎年、母の実家がある三重県四日市市に遊びに行ったり、日本国内で様々なところを観光しましたが、千葉県は初めてです。大学ではマヤ文明の考古学を専攻しましたが、社会学、人権問題や政治学の様々な分野の勉強もしました。

CCIAで仕事を始めたばかりですが、できるだけ多く人と知り合いたいです。国際交流は外国に住んでいる方と話し

合って行うものだけでなく、同じ町や学校、団地やサークルにいる異文化の人との関係を築くことで、充実されるものであると信じています。日本は今、かつてないほど外国から多くの方々を迎えています。共生するためにも、もっとうまくコミュニケーションをとり、互いに分かち合う必要があると思います。私では力不足かもしれませんが、ぜひその目的に向かって皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

これからよろしくお願ひします!



# ちばに暮らす

富田ナディアさん

## 日本の習慣で暮らすこと

日本に来たばかりのときは「こんにちは」しか知りませんでした。その後日本語を習いましたが、2年くらいは聞いて理解はできるけど、なかなか話せなかった。子どもができて、いろいろな所、病院などに行かなければいけないので、ようやく話せるようになりました。

子どもが学校に通うようになって、周りのお母さんたちとも話があまり通じず、とても苦労しました。しまいには、学校から呼び出しがあっても行かなかったりもしました(笑)。私は大家族で育ったので話をするのがとても好きなんです。でも、日本のお母さんたちとは話ができませんでした。気をとても使ったりなど、日本風の会話になじめなかったんです。とてもストレスがたまりました。

自分の友達を作ろうと、パーティなどがあると参加しました。そこではいろいろな国の人がいて、共通語は日本語でした。他の人の日本語を聞いて、「私はもっと上手になりたい!」と思い、発音などががんばりました。

日本に住む以上はしょうがないのかもしれないけれど、日本の習慣で過ごすさなければならぬので、本当に大変でした。日本に慣れないといけないうけれど、私は日本人にはなれない。みんな、それぞれ自分の文化を持っているんですよ。

## モロッコの家族の温かさ

日本とモロッコの家族は「温かさ」が違うような気がするんです。日本が特別冷たいわけではなくモロッコの家族はとても温かい。一緒に食事をするのも楽しいし、週末はみんなどこかに行って楽しむし、家族で過ごすことを大切にします。困った時は離れた家族も皆で助け合う。

日本では男性は仕事が忙しくて、なかなか家族と過ごせないですね。日本人も仕事でたくさんストレスがたまっていますよね。家族のためにもなんとかしないとイケない。でも働かないとお金が入ってこないし。難しいね。

## ベリーダンス教室

モロッコで小さい時からベリーダンスを習い始めて、モ



## プロフィール

モロッコの首都ラバト出身。モロッコで日本人と結婚、18年前から千葉に暮らし、8年ほど前からナディアベリーダンススクールを開いて、ベリーダンスの講習をしている。

ロッコでもベリーダンスを教えていました。モロッコでベリーダンスはワンピースなどを着て、結婚式で踊ります。いわゆる「肌を露出して」踊るのは、観光客向けなんです。イスラム教の国なので肌の露出は普通は禁止されているんです。

今は経済状況からしても日本人だって難しいけれども、日本に暮らしている外国人が仕事を見つけるのはとても難しい。電話しても、外国人だからといって、もうそこで断られてしまう。それで私は自分のできることをやろう、と考えてダンス教室を始めました。

踊るだけでなく、生徒さん同士でおしゃべりしたり、発表会が近いと衣装を作ったりして、アットホームな感じです。知り合いがやっているから、という理由で始める人が多いんですが、やっていく中でベリーダンスの面白さにはまる人が多いようです。みんな目標はさまざまです。痩せたい人、美しい衣装が着たい人、お化粧したい人、友達がほしい人、プロになりたい人、などなど。私はとにかくみんな楽しんでということ 키워ドにしてやっています。

ベリーダンスの良いところは体を動かして、ストレスを発散できること。踊った後はすっきりします。ベリーダンス教室の生徒は家族のようなものなので、これから一緒に楽しんで行きたいと思っています。

## 外国で暮らしている

外国人にとって日本で暮らしていると、自分の国ではないので、ほんの小さなことでもとても大きな問題となってしまいます。ストレスを発散するのは、とても重要なことだと思います。

自分の生きている歳の半分以上を日本で暮らしていますが、まだ外国人として見られると、やはりつらいです。同じように暮らしているんだから、私も同じ目で見たい。国際結婚しているほかの人にも、外国人と結婚しているからといって、自慢したりなど(特別なことを)せず、普通にしたい。外国人だって自分の人生を楽しみたいんです。夫と一緒に、家族で楽しみたいんです。

## 外国人生活相談

月～金の昼間も中国語で受付ができるようになりました。

英語	月～土	9:00～16:30
中国語	月～金	10:00～19:30
	土	9:00～16:30
韓国語	月・水・金	10:00～15:30
スペイン語	火・木	10:00～15:30
	土	9:00～16:30

\* 休憩時間でスタッフがいない場合があります。

- 費用：無料
- 場所：千葉市国際交流プラザ
- 相談方法：窓口、電話、e-mail、FAX

## 外国人法律相談

外国人市民が抱える法律一般にかかわる問題について無料で弁護士に相談できます。

### ●相談日時

2010年 1月18日(月)  
2010年 3月15日(月)  
時間は全て 13:00～16:00

●場所：千葉市国際交流プラザ  
議室(協会事務局となり)

- 費用：無料
- 定員：8名(先着順)
- 言語：日本語

### ※日本語を話せない方は

- ①できる限り通訳を同伴してください。
- ②通訳を同伴できない場合は、事前に相談してください。

- 申込：窓口、電話
- 締切：原則、相談実施の3日前

# グループ紹介

## 千葉大学生涯学習友の会 けやき倶楽部国際理解グループ

### 団体を設立したきっかけは？

今から15年程前に「千葉大学生涯学習友の会・けやき倶楽部」が生まれました。その中の自主学習グループのひとつとして結成されたのが「国際理解グループ」です。結成当時のグループメンバー6名の思いは「国際理解に努める」の一言でしたが、何を学習するか暗中模索の末、まず取り上げたテーマが「外国人留学生の学習支援」でした。

かつて海外駐在員として国際ビジネスで活躍された方も幾人かおられますが、ほとんどのメンバーはごく普通のサラリーマンOBと主婦です。でも、異文化への理解や異文化を持つ人々との接触到、ことのほか強い興味や関心を持つ方々の集まりです。

### 活動内容を教えてください

現在、活動の柱は3つです。

- ① 外国人留学生の学習支援として「日本の伝統文化・風俗の実習体験」。1年間に4回、季節に合わせて「浴衣の着付け」「七夕祭りの飾りつけ」「折り紙教室」などを留学生に体験してもらいます。



- ② 留学生と一緒に日本企業の現場を訪問する「最先端産業技術現場案内会」を春と秋に1回ずつ開催します。企業の現場訪問がより身近な学習となるよう、先方の会社の方々との質疑応答の場も設けています。そして、8月と2月には「お国自慢郷土料理講習会」を開催しています。いずれも留学生と身近に交流し、交歓を深める機会をつくるというのが目的です。
- ③ 会員相互研鑽の場として、自らの異文化体験報告会を開催しています。また、外部からの識者をお呼びして国際理解をテーマにした講演会も年に何回か開いています。

### 留学生自身や彼らを取り巻く環境にはこの何年間で変化はありますか？

日本で学ぶ大学生以上の外国人留学生は、今や12万人以上と聞いています。ここ千葉大学では957名(2009.5.1現在)の留学生が学んでいて、学生総数の7、8%を外国人留学生が占めていることとなります。出身地域で見ると圧倒的に多いのがアジア諸国からの留学生で、533名がお隣の中国からです。

受入れ側の大学も大きな変化を求められているでしょう。日常生活での日本語や生活習慣は何かかなるでしょうが、日

本語での授業や研究活動となればそれは容易なことではありません。私達の活動が、海外からやって来た留学生の学問研究活動をサイドから支援し、更に私達との交流交歓で彼らが豊かな留学生生活を送れるようにと願っています。

### 留学生との交流で印象深いことは何ですか？

留学生の学習支援が活動の大きなテーマですが、留学生と もっと交わろうと3年前から始めた、「最先端産業技術現場案内会」や「お国自慢郷土料理講習会」で得られる国際交流の喜びと成果は私達と留学生双方のものとなっています。



「料理講習会」のうちひとつは、地元千葉に昔から伝わる「房総太巻祭り寿司」を2月に行います。代表的な日本料理である「お寿司」とあれば興味を持たない外国人留学生はいません。千葉に伝わる家庭料理を求めて集まる留学生の笑顔を見るのが今から楽しみです。

夏休みには留学生の故郷の代表的な料理講習をします。昨年はスリランカの留学生からカレー料理とロティ(パンの一種)を、今年は中国人留学生から「水餃子」と「トマトスープ」を教わりました。各国の留学生も受講者として集まります。

留学生は様々な目的を持って、勉強しています。母国の国づくりに役立とうと必死に学んでいる学生もいます。また、日本で働くか母国に進出している企業で働くことを目指して学んでいる人もいます。

特に、急激かつ高度な経済発展を続ける中国社会は、戦後いち早く経済的貧困から脱却し世界有数の経済大国となった日本をそのお手本にと見てるのではないのでしょうか。欧米企業と違った「労働者のモラル」や「企業への高い帰属意識」、そして「企業内の人材育成システム」など同じ東洋人として共感と関心を覚えるようです。失われつつあると言われて久しい年功序列や終身雇用という企業慣行に興味を持つ留学生は少なからず存在します。

さらには、日本の文化に触れる喜びを求めている人もいます。日本の伝統文化や風習に驚きの声をあげ、初めて体験する異文化との接触を素直に受け入れようとする態度は嬉しくも頼もしく見えます。

「留学生の学習支援」や「留学生との交流」では、日本の伝統的な文化、風習、慣習の美しさ、気高さとそれらを失わず持ち続けることの大切さを私達自身が逆に思い知らされる機会となっております。

世話人 増井 敦

# 協会トピック

## 姉妹友好都市コーナー

千葉市の7つの姉妹友好都市からさまざまな記念品が贈られています。その記念品の一部を国際交流プラザで見ることができます。ヒューストン市の野球チームアストロズのユニフォームや、ノースバンクーバー市のファストネーションの木彫りの彫刻、アスシオン市の美しいレース編みキャンドテなど、世界の民芸品などが飾られています。国際プラザにお越しの際はぜひご覧ください。



## 編集後記

前号で特集しました「多文化共生についての意見募集」でいただいたご意見を、多文化共生社会の実現に向け活用させていただきます。締め切りは過ぎていますが、引き続きご意見をお待ちしております。 T.M.

## 賛助会員募集!

協会の事業は多くの市民の皆様方の支援によって支えられています。協会の事業にご理解・ご賛同いただき、是非賛助会員にご加入ください。賛助会員会費は協会事業の運営費として地域の国際協力事業等に活用させていただきます。

賛助会員限定講座・受講料割引の講座を開催します。ぜひご入会ください。

●年会費：個人…1口 2,000円(1口以上/年) 団体・法人…1口 10,000円(1口以上/年)

年会費は毎年4月から翌年3月末までの期間の会費です。

●特典：★協会情報誌(年4回発行)送付による情報提供 ★協会主催有料講座の受講料割引 ★各種イベントでの会員特典  
法人会員の皆様へ 個人を対象とした特典(受講料割引、各種イベント特典)について、法人会員の方は5名までが対象となります。

●入会方法：賛助会員に関心ある方は申込用資料をお送りいたします。協会窓口・郵送で随時受付しています。

賛助会員の方で「ふれあい」を次号より、e-mailでの送付を希望される方は協会(下記)までご連絡ください。



## 編集・発行 財団法人 千葉市国際交流協会

〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階

TEL 043-202-3000

FAX 043-202-3111

URL <http://www.ccia-chiba.or.jp/>  
e-mail [ccia@ccia-chiba.or.jp](mailto:ccia@ccia-chiba.or.jp)

千葉市国際交流プラザ

OPEN

月～金 9:00～20:00

土 9:00～17:00

CLOSE

日・祝・年末年始(12/29～1/3)



広告募集 協会情報誌「ふれあい」、英文情報誌「The New Gateway」に広告を出しませんか? 次回は平成22年4月発行予定!

年4回、各3,000部の発行です。広告掲載希望の方は協会までご連絡ください。

<費用> 1誌につき1回 5,000円

<掲載サイズ> たて 45mm × よこ 85mm

情報誌配布場所一覧  
(千葉市内)

協会賛助会員(個人・団体)、JRA千葉駅、アクアリンクちば、千葉三越、区役所、市民センター、コミュニティセンター、公民館、郵便局、千葉県中央経済事務所、市内大学、専門学校、市民会館、県文化会館、美術館、いきいきプラザ、図書館、ことばき大学ほか

※黒字は「ふれあい」のみの配布場所になります。

リリーの外反母趾・転倒予防靴下は広島大学大学院保健学研究科の共同開発商品です。

## 転倒予防靴下 つま先アップ

サイズ/おサイズ 22～27cm(1cmきざみ)  
カラー(6色)ノ黒、グレー、ピンク、紫、白、ミント

通常タイプ  
希望小売  
価格(1足) **1,575円**

スリッパ・靴でも同じ効果!

介護・リハビリ用にオススメの靴下

踵のあげ幅み調整で安全なますり止め効果つま先を上げて、らくらく歩行を実現! 日本製



## 外反母趾対策靴下

サイズ/22～26cm カラー/グレー

新価格

日本製

外反母趾対策に違和感無く継続して着用できます。

希望小売価格(1足) **3,150円**

株式会社 **リリーネット**  
〒730-0020 広島県広島市南区三本松2-7-1

取扱い代理店募集中

リリーネット 検索: 0120-20-3396

※お申し込み・ご注文・お問い合わせは、必ずお電話にてお願いいたします。